



平成30年10月22日

各位

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 代表者 代表取締役社長 稲妻 範彦
 (コード番号 7551)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 上村 定芳
 (TEL 03-5753-8201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,900	580	630	380	23.69
今回修正予想(B)	13,115	351	433	235	14.65
増減額(B-A)	215	△229	△197	△145	
増減率(%)	1.7	△39.5	△31.3	△38.2	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	10,825	513	581	379	23.67

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	1,980	2,040	1,250	77.94
今回修正予想(B)	32,000	1,720	1,880	1,120	69.83
増減額(B-A)	—	△260	△160	△130	
増減率(%)	—	△13.1	△7.8	△10.4	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	28,780	1,742	1,854	1,376	85.85

平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,400	580	400	24.94
今回修正予想(B)	9,373	407	286	17.83
増減額(B-A)	△27	△173	△114	
増減率(%)	△0.3	△29.8	△28.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	9,243	578	394	24.57

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,100	1,690	1,140	71.08
今回修正予想(B)	24,100	1,480	1,010	62.97
増減額(B-A)	—	△210	△130	
増減率(%)	—	△12.4	△11.4	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	24,026	1,675	1,127	70.29

修正の理由

(1)平成31年3月期第2四半期(累計)連結累計期間連結業績予想及び個別業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の業績につきましては、決算進捗状況を踏まえ、見通しを勘案した結果、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益をそれぞれ下方修正いたします。

利益減少の主たる要因は、顧客の低価格指向による高付加価値ホイールの減少および競争激化による売価停滞、原材料高等による原価高、運賃等の経費増加によるものです。

一方、売上高につきましては、主力のアルミホイールが減少したものの、スチールホイール・用品が増加し計画を確保できました。

(2)平成31年3月期通期連結業績予想及び個別業績予想の修正理由

通期の業績につきましては、第2四半期累計期間の決算進捗状況を踏まえ下期見直しを検討した結果、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正いたします。

主たる要因は、第2四半期累計期間の業績悪化に加え、第3四半期以降も自動車関連卸売事業に置いて現状の環境は変わらず、顧客の低価格指向および原材料高による原価高、運賃等の経費増加が続くことが懸念されるためです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上